

# 文詩集「ひまわり 57 号」作品募集について

## 1 テーマ 「自分やまわりの生活を見つめよう」

### 2 内容

- ・未来に向かって伸びていく子どもの豊かな夢や書きたいことが、読む人に分かるように書かれているもの。
- ・学校や家庭での生活などで、見たり聞いたり行ったりして感動したこと、考えしたことなどをくわしく見つめて書いたもの。
- ・興味をもって調べたり観察したりしたことを、図表やクラブ、絵などを使って、科学的な目で見つめて書いたもの。また、調査、観察中の苦労や工夫、成功したときの喜びや驚きなどを生き生きと表現したもの。

### 3 種類

#### (1) 生活作文…従来の生活文

説明的生活文…日常生活に題材を求めた説明的生活文  
(研究記録・観察文・報告文・風土記・意見文など)

\*生活作文・説明的生活文のどちらでもよい

#### (2) 詩



### 4 留意点

- <低学年>
  - ・見たこと、聞いたこと、したこと、心に浮かんだことなどを、素直にのびのびと書く。
  - ・先生や友達、家の人に話すように、自分のことばで書く。

- <中学年>
  - ・見たこと、聞いたこと、したこと、感じたこと、考えたことなどをありのままに書く。
  - ・本当に書きたいことを、読む人に分かるように書く。

- <高学年>
  - ・学校や家庭・地域の生活などをよく見つめ、その中から值打ちのある題材を見つけて書く。
  - ・対象を自分の目でとらえ直し、感動したことを、読む人の心を打つように書く。

### 5 字数

○欄外に題名、学年を書くこと。氏名は応募票に書いてください。

#### (1) 生活文 (題名・学年を除いた本文の字数とする)

- |          |            |                        |
|----------|------------|------------------------|
| <1年>     | 1200字以内    | (B4サイズ 400字詰め原稿用紙3枚以内) |
| <2・3年>   | 1200~1600字 | (B4サイズ 400字詰め原稿用紙3~4枚) |
| <4・5・6年> | 1600~2400字 | (B4サイズ 400字詰め原稿用紙4~6枚) |

#### (2) 詩

※字数の制限はない。(B4サイズの原稿用紙に書く)

原稿用紙の書き方は、  
うらを見てください。

### 6 留意点

- ・作品の右肩をホチキスで留める。

- ・自筆でていねいに書く。

- ・句読点を効果的に使い、読みやすくする。

- ・不用意なカタカナ書き (ゴミ、ビックリなどはひらがな表記)・当て字・流行表現は正しい表記にする。

- ・「?」「!」「-」は原則として使わない。内言の「」はできるだけ避ける。

- ・擬態語はひらがな、擬声語はカタカナで書く。ただし詩においては作者の表現を優先する。

- ・漢字の使用・会話表記・送りがな・原稿用紙の使い方は、教科書に準ずる。

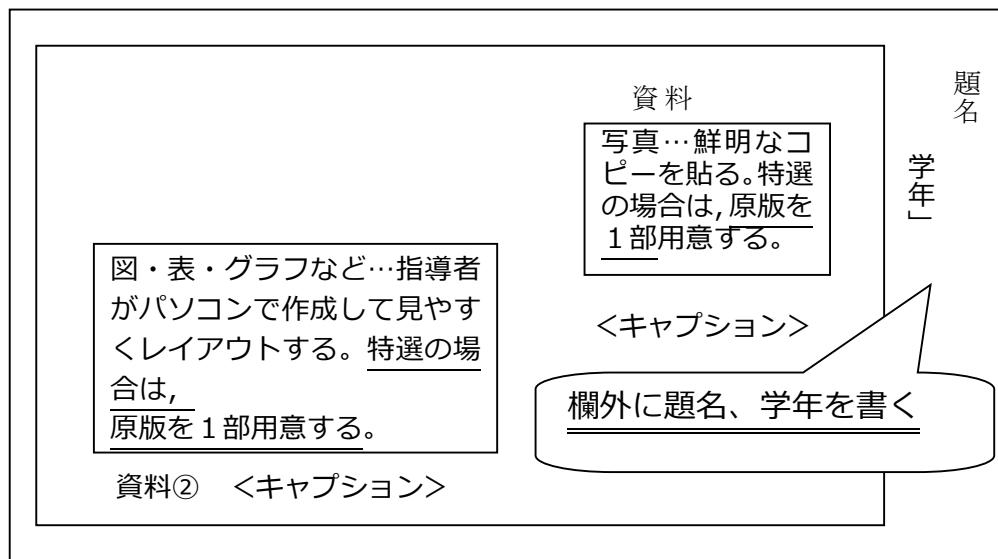
- ・詩の句読点については、よく吟味し、むやみに使わないようにする。

8月28日(水) 提出しめきり

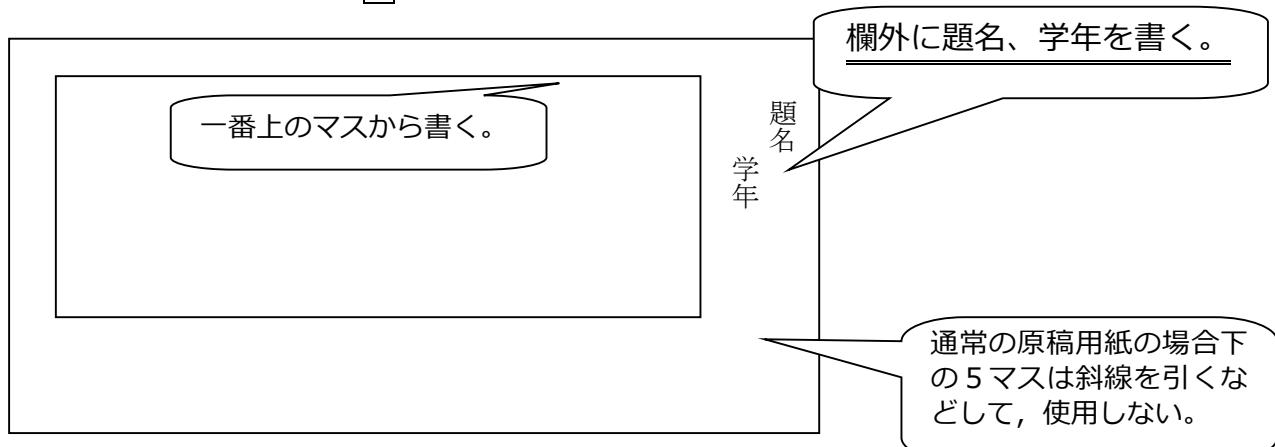
例<400字詰め原稿用紙 生活作文の書き方>



例<400字詰め原稿用紙 説明的生活文の書き方>



例<400字詰め原稿用紙 詩の書き方>



# 「読書感想文」作品募集について

字数・内容	その他
1・2年 800字以内	<ul style="list-style-type: none"><li>原稿用紙枠外に題名、学年だけを記入する。</li><li>原稿用紙1行目から本文を書く。</li></ul>
3~6年 1200字以内	<ul style="list-style-type: none"><li>裏面の応募票に記入してホッチキスで留めて提出する。</li><li>400字詰め原稿用紙を使用する。</li></ul>

## <書き方で気をつけたいこと>

- 書き出しの工夫をする。(読んでみたくなるような書き出しを)
- 作品の内容をよく理解し、感動したことが伝わるように書く。
- 文章の組み立てを考えて書く。
- 日々の生活との関わりを考えて表現する。
- 正しい表記を心がける。
- 決められた字数になるべく近い字数でまとめる。(最後の行にかかることがのぞましい)

課題図書・小学校低学年	「アザラシのアニー」(童心社) 「ごめんねでてこい」(文研究出版) 「おちびさんじゃないよ」(イマジネイション・プラス) 「どうやってできるの? チョコレート」(ひさかたチャイルド)
・小学校中学校年	「いつかの約束1945」(岩崎書店) 「じゅげむの夏」(校成出版社) 「さよならプラスチック・ストロー」(光村教育図書) 「聞いて聞いて!」(福音館書店)
・小学校高学年	「ぼくはうそをついた」(ポプラ社) 「ドアのむこうの国へのパスポート」(岩波書店) 「図書館がくれた宝物」(徳間書店) 「海よ光れ!」(国土社)
自由図書・自由に選んだ図書	(教科書、副読本、雑誌、パンフレット類などは対象としない。映画、DVD作品、ノベライズ本は避ける)

提出締め切り 8月28日(水)